

都産技研表彰 - INNOVATION PARTNERSHIP AWARD -

INNOVATION PARTNERSHIP AWARDとは

設立経緯

都産技研を利用し都内産業を牽引する優れた中小企業を表彰し、東京都におけるイノベーション創出と産業の発展を促進することを目的として、都産技研設立100周年を機に設立

対象

都産技研の技術支援・研究開発を通じて、社会的貢献度の高い事業、製品、技術開発に意欲的に取り組み、都内産業を牽引している中小企業



株式会社Any Design

所在地 東京都府中市是政1-43-22

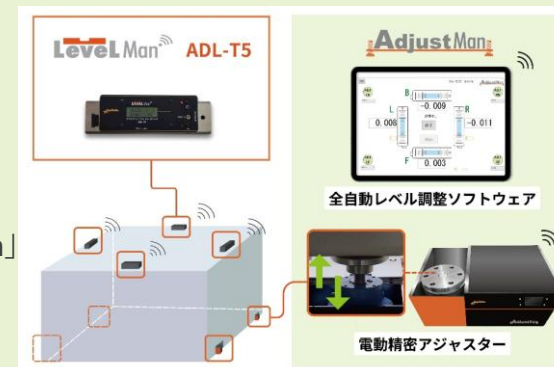
TEL 042-315-9801

URL <https://anydesign.jp/>

表彰理由 水平出しの手間を解決するデジタル精密水準器で ビジネスチャンスを拡大

精密加工機の出荷や設置に必要な水平出し（レベル出し）を少人数、短時間へと改善する機器開発に2016年から都産技研とともに取り組み、8年間で3機種を製品化。

従来、水平出しは水平器の気泡を目視で読み取りながら複数人で行っていたが、開発した「デジタル精密水準器LevelMan」は気泡位置を画像センサーで読み取り、作業者間で測定結果を共有し、工程を簡便にした。その開発を起点に、アナログやデジタル水準器の校正が可能な「全自動・水準器校正装置CalibMan」、「LevelMan」を電動精密アジャスターと連動させ誰でも3分以内に水平出し可能な「全自動レベル出し調整装置AdjustMan」を開発。さらに、顧客の要望にそったカスタマイズをすることでビジネスチャンスを拡大している。



支援の流れ

※OM型技術支援：定型試験では対応困難なお客様の技術課題に合わせた試験や試作、技術セミナー、外部専門家による技術アドバイス等の総称です

製品開発

技術相談 (2016年)

精度を保証するために、安定性を確保したい。

オーダーメイド(OM)型 技術支援、機器利用、 依頼試験 (2016年～)

環境の安定した空間で、測定機の安定性を評価

(デジタル精密水準器)

共同研究(2021年) 精密水準器の校正 装置 (世界初)

精密測定に適した環境で、校正作業の「再現性」を担保できる測定方法を確立

(全自動・水準器校正装置)

共同研究(2023年) 精密加工機の水平 出し自動化装置 (日本初)

装置の安定性を評価するため、非接触で傾きを計測する手法を確立

(全自動レベル出し調整装置)

作業員の技術力に頼らず、短時間に一人で水平出しが可能に

これまでにない機器でビジネスチャンスを拡大

企業紹介



デジタル精密水準器と独自のソフトウェア開発で現場のDX化を推進

大震災時、多くの工場で装置の水平がずれ、復旧には精密水準器と熟練作業者が必要であった。ものづくりの基礎となる装置の水平出しを誰でも簡単に行えるデジタル精密水準器が必要だと考え、2011年に起業。画期的な水平出し機器を複数開発している。

都産技研との出会いにより、精密測定分野の議論ができる場を得た

電子回路やアプリケーションの開発を得意としているが、精密測定分野を議論できる相手が社内外にいなかった。都産技研との出会いで、水平出しに関わる精密測定の考えを議論することや、精密測定が可能な環境を利用できたことで、機器開発の推進につながった。

個々の水平出しの課題を抱える顧客それぞれに解決策を提供

製品の企画・開発、設計を自社で行い、精密測定の現場をよりよく変える新しい技術の獲得を常に目指す。顧客それぞれの課題を聞き、顧客の現場にあわせたカスタマイズ製品を提供している。